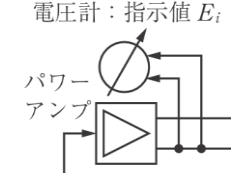
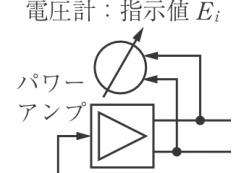
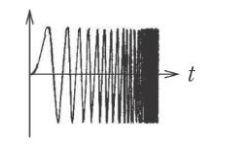

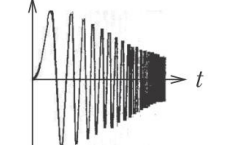
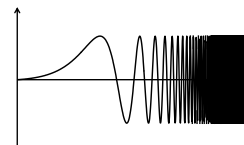


頁	箇所	誤	正
14	上15行目	図1.4	図1.3
31	下5行目		
34	下11行目		
38	下9行目		
58	下3行目		
38	6行目	loudspeaker	loudspeaker
54	図3.2の上1行目	F/s	F/r
61	式(3.24)	$\frac{8}{\pi}$	8π
62	式(3.27)		
63	式(3.31)		
63	上2行目	[kg/s ² m]	[kg/sm]
67	上2行目	図1.4の要領で	図1.3の要領で
	図3.8	左図の小さい○を削除	
68	下7行目	13章で述べる。	10章で述べる。
75	上2行目	コイルの電気インピーダンス	コイルを含む電気回路部の電気インピーダンス
86	式(4.29)前半	$I + \dot{I} = (Y + Y_0)E$	$I = \dot{I} + Y_0E$
	下9行目	または式(4.15)に対応する	または式(4.17)に対応する
102	式(5.6)	$\left \frac{P}{E} \right ^2 \frac{1}{R} = \left \omega \rho_a \frac{S}{4\pi r} \frac{Bl}{(z+z_0)\sqrt{R}} \right ^2$	$\left \frac{P}{E} \right ^2 R = \left \omega \rho_a \frac{S}{4\pi r} \frac{Bl}{(z+z_0)} \sqrt{R} \right ^2$
103	式(5.7)	$\left \frac{P}{E} \right ^2 \frac{1}{R} = \left \omega \rho_a \frac{S}{4\pi r} \frac{Bl}{(j\omega m + r + s/j\omega)\sqrt{R}} \right ^2$	$\left \frac{P}{E} \right ^2 R = \left \omega \rho_a \frac{S}{4\pi r} \frac{Bl}{(j\omega m + r + s/j\omega)} \sqrt{R} \right ^2$
118	式(6.20)の上の行	球面派	球面波
118	式(6.20)	指数関数の肩: rx	kr
134	上11	ρc	$\rho_a c$
	式(6.50)		
151	上8	1.6.2項で述べた	7.1節で述べた
186	下7	インピーサンス	インピーダンス
198	上11行目	石器における	設計における
208	上13行目	フラッタ	フラッタエコー
221	図11.20(b)	<p>電圧計：指示値 E_i</p> 	<p>電圧計：指示値 E_i</p> 
226	下3	894Hz, 1118Hz	891Hz, 1122Hz
231	6~7行目		
230	上1行目	では図1.2の	では図1.1の
235	3~4行目	リニアスケールで行われるので、結果を対数スケールで表す場合は周波数に比例する値(3 dB/oct)データにかけて補正する必要がある。	リニアスケールで行われるが、 $H(f)$ は比で与えられるので対数スケールで表す場合も補正は不要となる。
236	表11.1 $x(t)$		
	表11.1 $x(t)$		
239	式(11.21)	左辺 $X(f)$	$X(n)$
	式(11.22)	-i i	それぞれ j -j
	上7行目	式(11.17)は	式(11.19)は
266	図A.4	弦の固有モード	膜の固有モード